埼玉自動車大学校版

〒362－0806
北足立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

カスタムボディ科

東京オートサロン2016で最優秀賞を受賞

東京オートサロン2016が1月15日から3日間、千葉県の幕張メッセ国際展示場で開催され、カスタムボディ科で製作し、出品した「でんどう虫Z」が、東京国際カスタムカーコンテストにおいて、ECOカー部門で最優秀賞を受賞した。

毎年、このオートサロンにカスタムカーを出展しているが、近年では本校のブースを楽しみに来場する方もいるくらい知名度が上がっている。

今回は3日間で、史上最高の32万人超の来場者があり、会場内は歩くのも苦労するほどの混雑であった。

その中で、本校のブースにも多くの来場者が立寄り、学生の作品に色々な角度から見学したり、カメラにおさめていた。

今年の製作した「でんどう虫Z」は、見ても乗っても楽しめるような「スポーツカーEV」をコンセプトにスバル360の内、外装を日産S30型フェアレディZに仕上げた。ベース車、変更車共に学生達が生まれる以前の車で、今まで目にする機会も少なかったために、各部品の製作には苦労したが、様々な資料を基にして現車に近づけた。動力源も通常のエンジンではなく、モーターを取り付けて電気自動車仕様にした。

また、参考出品として、一級自動車整備科の学生により製作された「フォルクスワーゲンポロハーフカットモデル」と「フォルクスワーゲンTDIカットエンジン」の展示をした。最新モデルのカットということもあり、来場者だけでなく出展している各メーカーの方も足を止め、その作動に注目していたのが印象的だった。

昨年9月より製作を開始し、夜遅くまでの作業や苦労もあったが、3日間の展示の中で学生達は多くの来場者と接し、自分達の車両が最優秀賞という最高の評価をもらえたことは、学生たちにとって大きな自信となった。

ビジネスアリーナ２０１６

「彩の国ビジネスアリーナ２０１６」が、1月27日から2日間にわたり、さいたまスーパーアリーナで開催され、学生作品を出展した。

会場は、製品、加工技術、ITソリューション、環境など様々な分野に分かれており、本校は次世代自動車の分野において本田技研工業といったメーカーと共に大きなスペースに招待された。

車両は本年度製作したフォルクスワーゲン・ポロのハーフカットモデル、昨年度のホンダ・フィットハイブリッドのハーフカットモデルの2台。今年は更に日野の2トン車用ディーゼルエンジン、マツダのスカイアクティブディーゼルエンジン、フォルクスワーゲン・ゴルフのガソリンエンジンのカットモデルと現行モデル最新技術を展示し、多くの来場者が足を止めた。各メーカーの最新技術の作動が確認できるため、自動車産業以外の注目も高く、質問に対応する姿もしばしば見受けられた。

埼玉県の副知事やタイ王国大使館より参事官も本校のブースを見学され、高い評価をいただいた。

ドリラジ大会　ドリラジ王決定戦！実力派の戦い!!

本校主催の平成27年度ドリラジ王決定戦第2戦が1月31日、本校の特設コースで開催され、多くの来場があった。

ドリフトラジコン大会では、単純にコース周回のスピードを競うものではなく、コーナーにチェックポイントがあり、チェックポイントを通過するラジコンの「角度」「飛距離」「スピード」などを総合的に判断し、ポイントを付けて順位を決定する。ラジコンボディ外観を実際のレース車両のように仕上げるなど、車体本体を自分好みの外観、セッティングに出来ることから、本校学生の間でも大変好評の競技である。

今回のドリラジ大会では、29台がエントリー。参加者のなかには小学生もおり、高校生にも負けない走りを観せた。コース設定を実際のサーキットに似せて設定し、ポイントを競った。

大会結果は高校3年生が1位を獲得、2位には高校1年生が、3位は高校2年生が入賞した。尚、本校学生はサポート側に徹して競技を見守った。

今回のドリラジ大会では、勇猛果敢にドリフトチャレンジをする者や、確実にポイントを稼ぐような走りをする者がいた。本校ドリラジ大会も回数を重ねるうちに参加者のレベルが上がってきていることを感じさせる大会になった。

ニューイヤーミーティング2016見学

クラシックカークラブ

「ニューイヤーミーティング２０１６」が1月31日にお台場、青海臨時駐車場特設会場にて開催された。

このイベントは日本クラシックカー協会が主催する新年の恒例行事で、関東でも最大級の規模と歴史を誇る。今回は1979年以前に生産された車両の展示と部品交換会、即売会、フリーマーケットが行われ、クラシックカークラブの部員6名が見学した。

クラシックカークラブは、学校で所有するクラシックカーを整備し維持しているクラブで、女子学生を含む27名が所属する。今回参加した学生達は、色々な旧車の維持状態や部品・関連用品を興味深く見学し、車に対する知識を更に高めることが出来た。

親交会　## 新春懇親会開催

親交会の新春懇親会が1月21日、アートグレイス・ウェディングシャトー大宮璃宮にて開催され、職員を含め総勢119名が参加した。

はじめに森山憲一理事長が「埼玉自動車大学校は長い歴史があり本学園の最年長校でもある。全職員で協力し、より良い学校を作っていってもらいたい。他の学校の模範となるように頑張ってもらいたい」と、話した。続いて、菊地孝司校長が「新年を迎え今年は幸先の良いスタートがきれた。先日行われた東京オートサロン2016にてカスタムボディ科が製作した作品が、カスタムカーコンテストにおいて最優秀賞を受賞することができた。学生たちの努力が最高の形で評価されることとなった。年度としては締め括りの時期となり、国家試験対策も佳境を迎えている。全員合格を目指し今後共、各家庭に協力をお願いしたい」と話し、最後に永田早苗親交会会長から、「今年度は、校内の施設・設備を充実してもらい、子供たちも今まで以上に勉強しやすい環境を整えてもらったことに感謝します。国家試験受験学年に関しては、日頃の学校での熱心な指導に感謝をしつつ、家庭としては健康管理等に気を付けていきたい」と、挨拶があった。

毎年恒例となっている福引では、「食」をテーマに松坂牛のサーロインステーキや高級いちご、グルメカードなどを用意し、会を大いに盛り上げた。

各テーブルでは担任を交え、日頃の学生の様子や就職活動、国家試験対策などが話し合われ、保護者と担任がお互いに情報交換する良い機会となった。

『国家試験対策』

学内認定試験を実施

新年恒例の学内認定試験が1月13日、16日の日程で一級自動車整備科4年生、一級・二級自動車整備科2年生、車体整備科、カスタムボディ科の学生を対象にそれぞれ実施された。

この試験は、3月20日に行われる国家試験の前哨戦として、本番さながらに毎年この時期に実施されている。今回の結果と今までの模擬試験結果をもとに今後は、不得意分野を克服するための個別指導に力を注ぎ、国家試験全員合格を目指す。

同窓会通信

同窓会会報第15号が完成し、連絡可能同窓生9745人に発送しました。特集ページは埼玉自動車整備技術学校時代の様子です。川口オートでのレースがあり、それに参戦していた車両も掲載しております。会報を見た同窓生から懐かしい友人の記事が載っていて連絡を取りたいとありました。会報が同窓生において活用されているのが事務局としても嬉しく思います。お手元に届いていない同窓生がおりましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

Special Event 溶接教室3/6㊐

流れるようなスロープと
スイストーンの景観を誇る
菅平高原スキー場
信州・菅平高原 HOTEL HOZANKAN
●ラグビー専用グランド
●専用テニスコート20面
●専用ハンドボールコート
ホテル 城山館
別館 シュワルツ
〒386-2200長野県小県郡真田町菅平高原
TEL 0268-74-2678 FAX 0268-74-2648

民間車検場
有限会社 双葉自動車 整備工場
所沢市上新井四－四五－二二
TEL ○四－二九二四－一三三五

GB 群馬銀行 大宮支店
さいたま市大宮区下町二－一－一
TEL○四八－六四一－八五一一